

令和元年度 第2回モア学園学校運営協議会連絡協議会 議事録

1	日時	令和2年1月30日(木) 午後2時～午後3時30分
2	場所	羽島中学校 図書室(北舎2階)
3	出席者	<p>17名(全委員22名)</p> <p>足近校区 武山和明(コミセン館長) 長島秀賢(主任児童委員) 阿部達也(学校長) 田中彰俊(会長:地域コーディネーター)</p> <p>小熊校区 大橋利正(コミセン協議会長) 栗山美奈子(主任児童委員) 柳川禎章(地域コーディネーター) 鶴飼紀子(学校長)</p> <p>正木校区 味岡巖(自治委員会) 安井宏典(青少年育成推進部会長) 今井田明弘(学校長)</p> <p>市教育委員会 浅野喜代子(市CSディレクター)</p> <p>羽島中学校 今井田一志(PTA会長) 森山健(副会長:学校長) 栗本裕明(教頭) 小島京子(教諭) 今井田桂太(主幹教諭)</p>
4	議事	<p>① 開会の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの都合で考えないで、子どもたち中心の話し合いをしていきたい。 <p>② 活動報告</p> <p>〈各自治会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12地区ごとに避難訓練、安否確認を行っている。地域と一体となって活動していく。命を守る訓練を小学校と連携して行っている。(正木地区) ・コミセンでは防災コーナーを設置や、段ボールベット体験等を行っている。11月8日の北部防災の日には、子どもたちと関わりがもてる活動を考えていく。(小熊地区) ・地元を知ることが大切である。そのために、校外学習をコミセンと学校が連携して行っている。(足近地区) <p>〈各学校PTA〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA主催で防災講演会を行ったが、参加者が少なかった。子どもたちのために動けるPTAにしていきたい。(羽島中) <p>〈各学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携防災活動(図書コーナー、カンパン試食、防災一口メモ)を行った。1/17には事前連絡なしの命を守る訓練を行った。今後は、自分たちで考えて動けるようにしていく。(正木小) ・防災会とタイアップして防災活動をまとめたパネルを制作した。命を守る訓練は企画の段階からコミセンと連携している。カレー祭り等、地域と連携した活動ができた。(小熊小) ・液状化現象を想定した訓練、避難経路が塞がっている訓練等、様々な事態を想定した命を守る訓練を行った。2月には引き渡し訓練を行う。(足近小) ・2月には不審者対応の命を守る訓練を行う。12月の防災講演会では地域の防災士を講師に招き、巨大地震を想定した揺れ体験や全校生徒による校内DIGを行った。また、1月には1年生対象の防災教育を行い、備蓄倉庫、非常用水道などの見学や簡易防寒ベストづくりを行った。(羽島中) <p>③ 防災教育計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校、各自治体の協力のもと、モア学園防災教育全体計画を作成していく。 ・羽島中学校では来年度の防災活動の充実化を図るため、大学の准教授や地域の防災士の助言の元、今からチームをつくって話し合っている。 <p>④ 来年度の小中連携防災活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災一口メモ、図書館の防災コーナーは継続し、充実化を図る。 ・羽島中校区防災の日には、簡易的な命を守る訓練を行う。 <p>⑤ 1月～3月の地域行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校と各コミセンの行事紹介

		<p>⑥ 意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミスクを地域と子どもが楽しんでもらえる活動にしていきたい。 ・青少年育成推進委員会としても防災に関わっていけるようにしていきたい。 ・モア学園として防災を重点に取り組んでいることで、地域の防災の取り組みも刺激になっている。 ・救急救命講習を継続して行ってほしい。 ・引き渡し訓練を合同で行うことが理想的だが、現実的には厳しい。 ・防災活動を子どもたちが主体的に行っていけるようにしたい。羽島中校区防災の日と北部防災の日が近いため、連携できないか考えたい。 ・地域の方との挨拶を広げていくことは、顔見知りになり、防災にもつながっていく。これからも挨拶を大切にしていきたい。 ・防災教育として、ノウハウを知るだけでなく、地域を知ることによって人とのつながりをつくっていきたい。学校や地域で行っている活動はすべてが防災につながる。 ・挨拶をしないのは子どもが悪いわけではない。大人から子どもに声をかけていく。 <p>⑦ 教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミスクに形はない。学園構想や共通のテーマでの活動など、他の学校にない動きができています。 <p>⑧ 閉会の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小学校1年生から中学校3年生を地域で見たい。1つのテーマから子どもたちを支えていこう。」そんな構想が今年から形となって動き出すことができたことに感謝。 ・いろいろなものが防災を切り口で見るとつながっている。 ・小学校からの積み重ねがあるからこそその成果となっている。 ・挨拶も防災になる。小中一貫教育として挨拶も大切にしていきたい。
5	連絡等	○来年度も防災活動を中心に連絡協議会を行う。